



こども音楽食堂

Children's Music Cafeteria



オーケストラでは、ひとつひとつの楽器は異なる音色を奏でますが、それだけでは音楽は生まれません。しかし、一定のルールのもとで互いの音が調和すると、初めて美しい音楽が生まれます。私たちは、このプログラムを通じて、子どもたちに「一人ひとりの個性を尊重すること」と同時に、「規律のもとで調和することで、違いがあるからこそ一人では成し得ない大きな価値を生み出せる」という大切なメッセージを届けたいと願っています。

いま、日本には、経済的・家庭的な事情などから、文化芸術に触れる機会を得られない子どもたちが多く存在します。こうした格差は「体験格差」や「経験格差」と呼ばれています。私たちは、その格差を解消するだけでなく、子どもたちの自己肯定感や挑戦する勇気を育む機会を届けたいと考えています。この取り組みは、日本が古くから大切にしてきた「調和・共生・共栄」の価値観と協調の精神を未来へつなぐものでもあります。一人でも多くの子どもたちにかげがえのない体験を届けるため、皆さまの温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

① 「こども音楽食堂」のコンセプト

■コンセプト：

経済的な困難などから文化に触れる機会が限られている子どもたちへの、プロのオーケストラメンバーによる音楽のプレゼント。多くの子どもたちの心身に栄養を届けることを目的とし、次のような取り組みを行います。

- ①すでに運営している各地域のこども食堂や保育園などに、無償でプロの演奏者と食に関するものをお届けします。
- ②地域の少し広いスペースで、ご希望に応じて食とともにミニコンサートを開催します。
- ③1人から約35人編成のプロの音楽家を、無償で派遣します。
- ④オーケストラが開催する定期演奏会に、無償で子どもたちを招待します。

■教育的意義：

優れた芸術に触れる機会が限られている子どもたちに対し、プロフェッショナルによる「本気」の演奏を提供します。

「調和の力」を感じていただくプログラムを重視し、多様性を認め合う精神と協調性、一つのものを作り上げる共同作業の尊さを伝えます。

■持続可能性を強化するための協働：

単なるボランティアだけでは終わらせないために、企業サンプリング、マーケティングデータの共有など、本プロジェクトにご参加いただくことの付加価値を開発していきます。

また、日本全国の自治体と協業し、音楽アウトリーチイベントの共同開発など、持続的な支援モデルを模索します。

②自治体・会館との協業の可能性

「こども音楽食堂」では、自治体様や会館様との協働で、様々な支援策を開発してしていきたいと考えております。

■ 「音楽アウトリーチ」の共同開発

自治体に属する小中学校において、音楽と食育を組み合わせた出前授業を実施。芸術体験の平準化を図ります。

■ 不登校・引きこもり児童への情緒的支援

「学校」以外の安心できる居場所として、こども音楽食堂のプログラムを活用。集団の中での自己肯定感の回復を支援します。

■ 企業・団体との官民連携モデル

各自治体に拠点を置く企業と連携し、地域で子どもを育てる「地産地消型」の支援モデルを構築。
各自治体の独自施策としての発信。

■ 特別支援教育への応用

ボディパーカッションなど、感覚を刺激する音楽プログラムを通じた、発達支援の場としての活用。

発起人代表

株式会社シルバーボックス・プリンシパル 代表取締役 日野 洋一



「調和」は心の安定と、社会の安定へ

現代社会において、私たちは便利な暮らしを手に入れた一方で、人との深い繋がりが希薄になり、どこか孤独や不安を感じやすい時代を生きているようにも感じられます。そのような今だからこそ、私はオーケストラが持つ「調和の力」を子どもたちに届けたいと考えました。

オーケストラには様々な楽器が集まります。音色も役割も異なる奏者たちが、互いの個性を認め合い、他者と響き合う。そうすることで初めて、一人では辿り着けない美しさと力強い音楽を生み出すことができます。個人の主張を押し通すだけでは、この豊かな響きは生まれません。

「調和」とは、単に波風を立てないことではありません。多様な個性が最終的に絶妙なバランスを保っている状態を指します。異なる者同士が共鳴し、一つのものを作り上げるプロセスには、人間関係においても大切な秩序が内包されているのではないのでしょうか。

古来より、調和は魂の奥底に入り込み、人の人格や感情に強い影響を与えて考えられてきました。プロの演奏家たちが真剣に、そして楽しそうに演奏する姿を通じて、子どもたちに「調和がもたらす喜び」を肌で感じてほしいと願っています。

私たちは、このプロジェクトを通じて次の二つのメッセージを伝えたいと考えています。

①「個性」があっている。

自分の感性に自信と誇りを持ってください。あなたの個性がなければ、全体の響きは完成しません。

②自由と秩序の先に、調和がある

一人ひとりが自由に表現しながらも、互いを尊重し共通の秩序を守る。その絶妙なバランスから真の調和が生まれます。

この「調和の力」に触れることが、子どもたちの心の安定を育み、ひいては思いやりに満ちた社会の安定へと繋がっていく。それが私たちの願いです。

日野 洋一 [ひの・よういち] (株式会社シルバーボックス・プリンシパル 代表取締役) ※発起人代表

長島 昭久 [ながしま・あきひさ] (自民党・衆議院議員)

階 猛 [しな・たけし] (中道改革連合・衆議院議員)

伊藤 孝恵 [いとう・たかえ] (国民民主党・参議院議員)

河合 道雄 [かわい・みちお] (チームみらい・衆議院議員)

飯森 範親 [いいもり・のりちか] (指揮者・パシフィックフィルハーモニア東京 音楽監督)

大谷 康子 [おおたに・やすこ] (ヴァイオリニスト)

伊藤 裕太 [いとう・ゆうた] (音楽プロデューサー)

蘭 信三 [あららぎ・しんぞう] (上智大学名誉教授・社会福祉法人さぽうと21 理事長)

〈一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京〉について

1990年設立。定期演奏会をはじめとする自主公演を軸に、音楽鑑賞教室、オペラ、バレエ、レコーディング、放送出演など、多岐にわたる演奏を展開する。ポピュラー音楽、映画、アニメ、ゲーム音楽のコンサートにも積極的に取り組み、多彩なジャンルのアーティストと共演の場を広げている。2018年からは楽団誕生の地である練馬区で「練馬定期演奏会」を開始。2022年、飯森範親の音楽監督就任とともに、楽団名を「パシフィックフィルハーモニア東京」へ改称。

子どもたちに音楽を届ける取り組みを大切な活動指針とし、多数の奏者が呼吸を合わせ一つの響きを創り上げるオーケストラならではの調和の姿を伝えることを命題に、地域や教育の現場に寄り添い、日々の演奏を地道に積み重ねている。

■音楽監督：飯森範親 ■指揮者：園田隆一郎 ■ポップスエグゼクティブプロデューサー：藤原いくろう

設立年 1990年

所在地 〒176-0005 東京都練馬区旭丘 1-71-6 プロパティ江古田4F

役員 会長：日野洋一

理事長：吹浦忠正

理事：相羽利昭 安藤孝之 大野えい子 川添英起 木村宗慎 金正美 久保島佑太

後藤健太郎 佐藤幹雄 谷和夫 野老覚 畠剛 向井隆昭 渡邊明 (50音順)

監事：荒木達男



■こども音楽食堂 《スマイル・コンサート》

日時：2026年3月7日（土）14:00～15:15
会場：東京芸術劇場 コンサートホール
指揮：河合尚市
司会：西端ちひろ
プログラム：モーツァルト:アイネクライネナハトムジークより第1楽章
久石譲:となりのトトロメドレー
高橋宏樹編:運動会メドレー
YOASOBI:アイドル
エルガー:威風堂々第一番
カバレフスキー:道化師（ナレーション付き）

「こども音楽食堂」プロジェクトのキックオフイベントとして、東京芸術劇場で《スマイル・コンサート》を実施。こども音楽食堂で提供可能な、様々な形態のアンサンブル（弦楽四重奏・木管五重奏・金管五重奏・15人編成の混成合奏）、そして35人編成のオーケストラによるデモンストレーションを行った。指揮者体験や曲に合わせた振り付けで客席との交流の場も設け、約500名の来場者とともに、笑顔あふれるひとときを過ごした。終演後には、メディア・自治体関係者を対象に事業説明会を開催し、活発な意見交換を行った。



メディア掲載

活動開始以来、下記をはじめとした多くのメディアでご紹介いただいています。

産経新聞WEB版 (2026.3.7)



The screenshot shows a news article on the Sankei News website. The headline reads: "子供たちに「音楽」という栄養を 「こども音楽食堂」東京芸術劇場で初のオーケストラ公演". The article includes a photograph of an orchestra performing on a stage with colorful balloons. The text below the photo discusses the initiative to provide music as a form of nutrition for children, mentioning the 'Kodomo Ongaku Shokudo' project and its first symphony concert at the Tokyo National Theatre.

<https://www.sankei.com/article/20260307-4XCALZUQWRDYTKY6JVFNZOSRXY/>

朝日新聞WEB版 (2026.3.4)



The screenshot shows a news article on the Asahi News website. The headline reads: "食と演奏を届ける「こども音楽食堂」 東京芸術劇場で7日に演奏会". The article features a colorful logo for 'Kodomo Ongaku Shokudo' and text explaining the project's goal of combining food and music for children. It mentions the first symphony concert on March 7th at the Tokyo National Theatre and provides contact information for the project.

<https://www.asahi.com/articles/ASV332PLPV33OXIE043M.html>

テレビ東京・TXNニュース (2026.3.7)



The screenshot shows a video player from TXN News. The video title is "「体験格差」解消へ こども「音楽」食堂". The video content shows an orchestra performing on stage, with a large audience visible in the foreground. The video player interface includes a search bar, navigation buttons, and a description of the 'Kodomo Ongaku Shokudo' project.

https://txbiz.tv-tokyo.co.jp/txn/news_txn/post_336546

今後の予定・お問い合わせ先

■ プロジェクト正式始動日…2026年5月5日（火） こどもの日

- ・ 寄付口座の開設
- ・ 特設ホームページの公開
- ・ 「こども音楽食堂」実施会場の募集スタート

■ 実施予定イベント（決定分のみ掲載）

- ・ 2026年6月27日（土）こども音楽食堂《スマイル・コンサート》in 文京学院 仁愛ホール【公演型】
- ・ 2026年7月24日（金）～26日（日）こども音楽食堂 in WITH HARAJUKU【公演型】
- ・ 2026年7月10日（金）こども音楽食堂 in 府中ベース104【訪問型】
- ・ 2026年8月22日（土）こども音楽食堂 in 門前仲町すた～でいあむ【訪問型】
- ・ 2026年8月27日（木）こども音楽食堂《スマイル・コンサート》in 文京学院 仁愛ホール【公演型】
- ・ 2026年10月25日（日）こども音楽食堂 in 多摩市立永山公民館ベルブホール【公演型】
- ・ 2026年10月25日（日）こども音楽食堂 in アジアスポーツフェスタ2026【訪問型】



社会福祉法人さぽうと21

一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京

メール：pacific@ppt.or.jp

電話：03-6206-7353（平日10:00～18:00）

（担当：関口）

社会福祉法人さぽうと21

メール：s21kodomo@support21.or.jp

電話：03-5449-1331（平日14:00～17:00）

（担当：山崎）